

令和2年度 学校評価（児童生徒用）結果分析・考察

児童生徒による学校評価は、15の評価項目を◎（とても思う）、○（思う）、△（思わない）、×（ぜんぜん思わない）で評価を実施。83名（小学部22名、中学部26名、高等部35名）が回答（全体の約43%）。

◎（とても思う）、○（思う）の回答率が90%以上の項目

- ①学校や私のクラスは楽しい。(96.2%)
- ②先生は、わたしたちの話や意見をよく聞いてくれる。(97.5%)
- ③授業は、わかりやすく楽しい。(98.7%)
- ④授業でわからないところは丁寧に教えてくれる。(96.2%)
- ⑤先生はよくほめてくれる(93.9%)
- ⑥先生になんでも(おうちや友達のことも)相談できる。(92.7%)
- ⑦先生は秘密をまもってくれる。(90.3%)
- ⑧担任以外にも気軽に相談できる先生がいる。(93.9%)
- ⑨先生は、いつでも私たちを守ってくれる。(97.5%)
- ⑩先生は私たちの将来のことについて、よく話してくれる(96.2%)
- ⑪学校は、掃除されていてきれいだ。(96.2%)
- ⑫他のクラスとの交流や学校行事は楽しい。(92.7%)
- ⑬私は生徒会、学級活動に楽しく参加している(96.2%)
- ⑮地震・津波・火事の訓練では、避難の方法がわかった(96.2%)

前年度に比べ「◎（とても思う）、○（思う）」の項目が増えた。コロナ渦、職員全体、PTA、関係機関、地域と連携し学校全体として、安心安全な環境づくりと指導への対応が個々の不安感の解消や学校生活の充実感に繋がったと考えられる。諸活動を通して対話的で、雰囲気良く、見通しの持てる環境であると考えられる。日々の幼児児童生徒の様子を注意深く捉え、配慮が必要な事案に対して各関係部署が情報を共有し迅速に対応していた結果だと思慮される。特に①～⑥の結果からは生徒等の成就感や自尊感情の成長に繋がる要素が伺え、学校教育目標達成に今後も必要不可欠な評価と考えられる。

◎（とても思う）、○（思う）の回答率が20%以上の項目

- ⑭学校で、友達にいじめられたことがある。(20.4%) 17/83

いじめに関するアンケート調査では、「いじめられたと思う」が1件でもあれば迅速に対応する体制をとっている。また、学校評価アンケート以外でも定期的なアンケートを実施し細心の注意を図り対応しています。学校評価アンケート結果では、全体で20.4%（小0件・中8件・高9件）。中学部の8件は「活動中のじゃれ合い、遊びの範囲での言い合い」精神的・身体的な苦痛や悩みに発展する事案ではなかった。高等部の9件に関しては、友達同士の言葉遣い、接し方「過去の出来事、暴言を言っている

のを聞いた」内容。担任、生徒指導部で個別に対応し「状況の理解、原因、反省、仲直り、今後の対応」を個々の状況、状態にあわせ対応した。外部のスクールカウンセラーとも連携し対応。学校生活、授業中での人権教育の推進、言葉遣い、関わり方、パーソナルスペース、コミュニケーションの取り方などを対話的に進め解決に至った。

いじめ防止に関しては、未然防止の取り組みと常日頃の会話、目配り、職員間の情報共有が重要である。児童生徒からの相談や児童生徒間のトラブルがあれば、すぐに対応する協力体制の推進が今後も重要である。

《意見コーナー》学校でこうすればいいのにと思ったことがありましたら、書いてください。

幼小学部

- ・図書室への新しい本の希望・授業参観の日にお母さんへ参加のお願い・給食メニューについて・プールやあそびをしたいなど

中学部

- ・授業がたのしい・先生がよく褒めてくれてうれしい・体育、国語、数学をがんばりたい・かぞくや友達とけんかしたら気持ちやことばがいえなくなる

高等部

- ・みんなが笑顔、ニコニコ学校になってほしい・みんな明るくすごせるように。

意見コーナーは、児童生徒の素直な意見として受け止め、学校、家庭、PTA、関係機関が今後も連携して個々の成長に繋がる対応を継続して取り組む必要があると考えます。